

施策マネジメントシート(平成27年度の振り返り、総括)

作成日 平成 28 年 6 月 28 日

基本目標	Ⅲ	交流による魅力と活力にあふれるまち	主管課	名称	観光商工課
				課長	澤浦 厚子
施策	21	観光の振興	関係課		

施策の目的	対象	意図	基本事業	基本事業名	対象	意図	
	①町外の人	①町に何度も訪れ、消費する。		1	観光PRの推進	国内観光客	町の魅力を知る。
				2	観光資源の有効活用と品質向上	国内観光客	様々な観光資源を安全に安心して楽しむことができる。
				3	観光客満足度の向上	国内観光客	快適に過ごせて、満足できる。
				4	国際観光の推進	外国人観光客	町を訪れ、消費する。
				5			

成果指標	成果指標名		単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	A	宿泊客数	千人	実績値	1,097	1,137	1,086	1,146	1,119		
B	入湯客数	千人	目標値		1,100	1,140	1,180	1,220	1,260	1,300	
			実績値	1,229	1,316	1,289	1,321	1,277			
C	観光消費額	百万円	目標値		1,230	1,279	1,328	1,377	1,426	1,476	
			実績値	19,951	20,725	19,813	20,623	19,043			
D			実績値								
			目標値								
E			実績値								
			目標値								
F			実績値								
			目標値								

実績値の考え方と把握方法	A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されているといえるため成果指標とした。 群馬県観光客数・消費額調査による
	B) 数値が高まれば町に多くの観光客が訪れているといえるため、成果指標とした。 課税状況調査による ※平成23年度、24年度、25年度、26年度、27年度の入湯客数については、税務課資料(毎年5月時点)に基づく数値。
	C) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成されているといえるため成果指標とした。 群馬県観光客数・消費額調査による

目標値設定の考え方	過去の経年経過からすると、毎年度△1.5%となっているが、平成29年度には平成23年度より20%の増加を目標とする。 参考: 群馬県の目標値 → 【(宿泊客数)県目標値:589万人(H21)→650万人(H27)10%増】
	平成24年度で「みなかみ町観光振興計画(平成24年度～平成29年度)」を策定した。平成23年度実績をベースに平成29年度での目標値を宿泊客数、日帰り観光客数、観光消費額についてそれぞれ以下のとおり設定した。 <観光振興計画の目標値> ○ 宿泊客数 110万人 → 130万人(18%増) ○ 日帰り観光客数 310万人 → 310万人 ○ 観光消費額 20,000百万円 → 24,000百万円(20%増)

施策のための役割・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割 ①住民は、地域の良さを知り観光地であることを認識することで、地域をきれいにするとともに、観光客におもてなしの心で接する。 ②住民は、観光ボランティアなどに参加するなど、町の魅力を積極的に発信する。 ③観光関係者・事業者同士で連携し、主体的に観光素材の発掘や企画・提案、情報の発信などを行う。	2. 行政(町、県、国)の役割 ①総合的な観光振興策の企画立案を行う。 ②施設の維持管理、観光資源の品質を管理する(整備、規制、保護など)。 ③観光関係団体と連絡・調整を行う。 ④地域の特性に応じた観光振興への取り組みを育成・支援する。
---------------	--	--

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか? ①国の訪日プロモーション方針は、年間を通じた訪日需要の創出、更なる地方への誘客、地方での旅行消費拡大を強力に推進する。また、富裕層をターゲットとした日本ブランドイメージの確立、訪日教育旅行の拡大等の取り組みも強化することとしている。平成32年の東京オリンピックまでに訪日外国人旅行消費額8兆円、訪日外国人旅行者数4,000万人の目標を掲げている。 ②県は国際戦略としてインバウンドと、温泉・スキー・教育旅行などへの取り組みを強化する。 ③雪国観光圏では、平成27年3月の北陸新幹線開通による上越新幹線の運行本数の減少の対応策として、雪国ならではの各種事業を展開している。また、「飯山線」、「只見線」、「ほくほく線」、「上越線」など在线上線を活用した周遊観光ルートの提案、全長280kmのロングトレイルコースの整備に取り組んでいる。 ④全国各地で教育旅行、エコツーリズムやアウトドアスポーツを観光資源として取り組んでいるケースが増えてきた。ITの進歩とスマートフォンの保有率が高まっていることから、これらのツールを活用した観光情報の発信を行う必要がある。また、全国的にマストツーリズム(団体旅行)の減少や着地型観光の増加へのトレンドの変化がうかがえる。 ⑤平成26年6月に富岡製糸場などが世界遺産に認定された。 ⑥イギリスのEU離脱に伴い為替相場や経済状況の影響が懸念される。 ⑦ぐんま県境稜線トレイル(仮称)の検討委員会設立、2018年度の全線開通を目指している。 ⑧リニア中央新幹線の東京(品川)～名古屋間の全線開業は2027年予定、先行開業は2020年前後となり、区間は神奈川県相模原市～山梨県甲府市。	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか? ①農家は観光産業との連携(観光農園と農家民泊、農業体験など)や直売所での農産物の販売に期待している。 ②平成30年夏のDCを獲得し、大型観光キャンペーンを継続・展開してほしい。 ③長期滞在ができるような仕掛けをして欲しい。 ④外国人にわかりやすい案内表示と町内で安心快適に滞在するための二次交通やWi-Fi環境などの整備を進めてほしい。 ⑤国内外の富裕層を対象としたサービス(宿泊やアクティビティなど)を提供する事業者が増えてほしい。 ⑥町内の観光素材を組み合わせたパッケージ旅行の開発と宣伝してほしい。 ⑦海外へPRする機会を増やしてほしいとの声がある。 ⑧観光地にそぐわない宿泊施設等の廃墟を撤去してほしいとの声がある。 ⑨ダム等の有効活用を望む声が年々強まっている。
-----------	--	---

施策	21	観光の振興	主管課	名称	観光商工課
				課長	澤浦 厚子

実績比較		背景・要因
① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	① 日帰り観光客の推移 平成26年度3,173千人に対して平成27年度は2,643千人(前年対比83.3%減)となり、530千人の減。 ② 宿泊観光客の推移 平成26年度1,146千人に対して平成27年度は1,119千人(前年対比97.6%減)となり、27千人の減。 ③ 観光消費額の推移 平成26年度20,623百万円に対して平成27年度は19,043百万円(前年対比92.3%減)となり、1,580百万円の減。 平成27年度はスキー等の入込客数が、35万5千人(前年対比61.9%減)となり、約218千人の減。谷川岳の登山者数は51,468人(前年対比17.2%減)となり、10,708人の減。7月の集中豪雨により谷川ロープウェイが被害を受け、数週間運休した。また、一倉沢の交通規制期間中(6月～11月の171日間)の来訪者数は44,217人(前年対比3%減)となり、平成26年度45,603人と比較して1,386人減った。
	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	群馬県内の四大温泉地(草津、伊香保(渋川)、四万(中之条)と)の日帰り観光客数、宿泊観光客数、観光消費額についての比較は以下のとおりである。ただし平成27年度の数値については群馬県が未発表のため、各所在市町村に照会した暫定値である。 ① 草津温泉 日帰り観光客数 宿泊観光客数 観光消費額 平成24年度実績 981,030人 1,784,006人 31,375,664千円 平成25年度実績 983,032人 1,792,258人 27,317,387千円(算出根拠変更) 平成26年度実績 1,042,301人 1,837,548人 30,873,877千円 平成27年度実績(前年比) 1,101,131人(5.6%増) 1,899,281人(3.3%増) 31,837,098千円(3.1%増) ② 伊香保温泉 日帰り観光客数 宿泊観光客数 観光消費額 平成24年度実績 415,951人 1,049,372人 13,352,312千円 平成25年度実績 419,984人 1,018,564人 12,988,649千円 平成26年度実績 412,902人 1,056,401人 13,309,954千円 平成27年度実績(前年比) 405,757人(1.7%減) 1,094,216人(3.5%増) 13,891,296千円(4.3%増) ③ 四万温泉 日帰り観光客数 宿泊観光客数 観光消費額 平成24年度実績 99,154人 259,698人 4,635,641千円 平成25年度実績 93,542人 258,861人 4,033,577千円 平成26年度実績 95,439人 265,013人 4,328,299千円 平成27年度実績(前年比) 98,630人(3.3%増) 273,081人(3.0%増) 4,501,418千円(4.0%増)
③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	① 宿泊客数 平成27年度目標値1,220千人に対し、平成27年度実績が1,119千人となり、目標値を101千人(8.3%減)下回った。 ② 入湯客数 平成27年度目標値1,377千人に対し、平成27年度実績が1,277千人となり、目標値を100千人(7.3%減)下回った。 ③ 観光消費額 平成27年度目標値22,400百万円に対し、平成27年度実績が19,043百万円となり、目標値を3,357百万円(15.0%減)下回った。

成果実績に対するの総括	①群馬県、JR東日本高崎支社と連携した「ググっとぐんま観光キャンペーン」を10月～12月にかけて展開した。主な取り組みとしては7月初旬の「谷川岳ウィーク」イベントは前年以上に盛り上がり、山開きに合わせた夜行列車は2週間売り切れとなった。8月下旬からは「星の鑑賞会」を実施し、全18日間の内13日実施することができ、参加者は前年比518減の3,400人あった。観光宣伝については、群馬、大阪、東京、埼玉、千葉、栃木、神奈川、愛知の駅及びイベント会場などで延べ30日間、高速道路のサービスエリアやイベントスペースでスキー・スノーボードのPRを5回実施した。記録的な雪不足によりスキー客が激減したことを受け、1月27日～2月17日まで、MXテレビ50本、FMナックファイブ15本を追加放送した。また、都道府県会館での定例記者発表会(4回)で観光情報を発信するとともに、その他テレビ、ラジオの取材を受入れた結果、平成27年度もテレビ露出が多かった。また「ぐんまちゃん家」で年3回行う「サロンド・G」でみなかみ町の観光情報発信した結果、メディア等の露出増加に繋がった。 ②JR東日本の蒸気機関車D51、C61の運行時に車内及び水上駅軒前前で近隣市町村、商工会及び観光協会と連携してPR、物産・飲食販売、抽選会などの「おもてなし」を8回実施した。10月のJR主催わくわく体験イベントでは、利根沼田の特産品のPR等を実施し来場者は3,000人だった。また、町単独により、この指止まれの会の協力を得て8回行った。 ③教育旅行の受入数は平成25年度は9,878人、延べ宿泊数は11,635泊、平成26年度は10,978人、延べ宿泊数は14,953泊、平成27年度は11,093人、延べ宿泊数は14,541泊であった。台湾からの教育旅行受け入れについては、台湾訪日教育旅行促進事業現地説明会や台湾訪日教育旅行関係者との交流会へ参加するなどの誘致活動を行い、平成24年度は7団体344人、平成25年度は18団体874人、平成26年度は22団体964人、平成27年度は17団体817人であった。 ④赤沢スキー場は雪不足により、入込客数は5,738人で対前年比58.17%の減、売上額は7,987千円で前年対比58.2%の減となった。 ⑤町内の外国人延べ宿泊者数については、平成25年度6,708人、平成26年度11,222人、平成27年度19,655人と増加している。平成27年度においては、主に台湾とタイを対象としてプロモーションを行った結果、台湾においては前年度対比185%、タイにおいては前年度対比208%となった。 ⑥外国人受入環境整備においては、国の地方創生先行型交付金を活用して町内事業者に対する補助金制度を創設し、整備数35件、総額14,004千円の補助金交付を行い、町内施設のWi-Fi環境や外国語表記などの受入環境整備を行った。
-------------	--

	基本事業名	今後の課題	平成29年度の取り組み方針(案)
今後の課題と取り組み方針(案)	1 観光PRの推進	①一元化した情報をいかに効率的効果的に情報発信するかが課題。 ②効果的な手段であるメディアへの露出をいかに増やすか。そのための情報を発信する。 ③町内で観光客のクロスセルができる仕組みが必要。	①観光客の種別(年代別等)ごとにPR戦略をつくる。 ②メディアへの効果的な情報発信手段を構築する。 ③町内の宿泊施設等の観光資源が互いに利用を勧奨できる仕組みを構築する。
	2 観光資源の有効活用と品質向上	①町にある観光資源を洗い出し、磨き上げて有効活用する。 ※過去のデータを元に精査する。 ②老朽化した観光施設を効率的に維持管理することにより、観光客の安全を確保する。	①町内の自然資源(ダム湖・滝など)の見せ方を検討し観光プログラム化する。 ②集客効果や利用頻度の高い観光施設を維持するために費用対効果を考慮した改修等を行う必要があるため、改修計画を策定する。
	3 観光客満足度の向上	①観光客に提供する食事の魅力を更に向上させる。 ②二次交通を充実させる。 ③観光事業に携わる人の人材育成。 ④観光客のニーズを把握・整理し、観光客の満足度を向上させるための対策が必要である。 ⑤観光地であることの優位性を地域住民に知ってもらい、観光事業への協力を得ることで、地域全体のホスピタリティを向上させる。	①町内にある飲食業者や宿泊業者と連携して町の特性を活かした食事メニューを開発する。 ②JRと連携してレンタカーの利用促進を図る。 ③観光関係事業者の接客能力と資質向上のための機会創出。 ④リピーターをひとりでも多く獲得し、繰り返し訪れてもらうための方策を調査検討する。 ⑤DMOと地域や行政が連携し、より魅力的な観光地域づくりに取り組む。
	4 国際観光の推進	①公共的観光施設と観光事業者の受入態勢(Wi-Fi整備、多言語表記、外国語パンフレット、ホームページ等)の整備。 ②新たな誘致活動の対象国を選定し、誘客を図る。	①受入態勢を整備する支援体制を充実して、外国人観光客を受け入れる宿泊施設を増やす。 ②日本への直行便がある空港を有する台湾高雄市や、経済発展が見込まれるASEAN諸国の誘客活動を拡大し、観光協会やインバウンド推進協議会等の関係者と連携してプロモーションを推進する。 ③海外メディアや海外事業者に対してPR活動を実施する。

21 観光の振興

21-01-000001		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	35,538,000円				
<b>観光協会運営費補助事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	1観光総務費	
事業概要	事業の意図	観光協会が円滑に運営されることにより、みなかみ町の観光振興につながる		平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性	
				事業本数			45		件	×	有効性
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	水上温泉郷、猿ヶ京三国温泉郷、上牧奈女沢温泉郷、それぞれが周辺観光資源を活かすことにより地域の観光振興を図るとともに、3地域の連携により、新たな観光資源の相互活用を図ることにより魅力の向上や情報発信力の強化を図る。			課題とその解決策	業界全体がかなり疲弊しており、根本的に改善が必要な事は否めないが、個々のファイナンスの問題があり、軽々に取り組めない状況がある。また、3観光協会の合併により、組織力が低下している部分がある。しかしながら、3地域が連携して取り組むことにより、観光地のアメニティの向上や、魅力の向上などが期待できるので、それらを踏まえ宣伝活動やイベントの内容を充実することに努めたい。				
							○	効率性	○	公平性	

21-01-000002		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	16,923,703円				
<b>観光情報広告宣伝事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	2観光振興費	
事業概要	事業の意図	各種キャラバンや観光宣伝により、みなかみ町に魅力を知ってもらう。		平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性	
				旅行商品の企画			10		件	×	有効性
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	観光協会を中心に、より多くのキャンペーンや観光宣伝を行う。			課題とその解決策	観光協会への観光宣伝補助と連携				
							○	効率性	○	公平性	

21-01-000003		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	587,557円				
<b>観光看板・モニュメント等維持管理事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費	
事業概要	事業の意図	みなかみ町の魅力を知ってもらう		平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性	
				観光客数			3,762		千人	×	有効性
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	効果の少ない看板は撤去し、事業費の削減を図るまた、効果的な場所については地域の関係団体と連携を図り、新規設置も考える。			課題とその解決策	看板撤去については、地権者との協議が伴う				
							○	効率性	○	公平性	

21-01-000004		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	円				
<b>観光客動態調査事業</b>		予算科目	会計		款		項		目		
事業概要	事業の意図	みなかみ町への観光客が、町内で消費した金額を算出する		平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性	
				みなかみ町での観光消費額					百万円	×	有効性
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	四半期毎の調査を実施し群馬県へ報告している。また、平成24年度4月より、外国人宿泊客の国籍別調査を開始した。			課題とその解決策	当町の主要観光業である、アウトドアの観光客数を把握できていないので、次年度以降はアウトドア業者から観光客数を報告してもらえるように検討していく。また観光客数調査だけでなく、様々なアンケート調査やギャップ調査なども調査出来ると良い。				
							○	効率性	○	公平性	

## 21 観光の振興

21-01-000005		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	38,409,321 円				
<b>ググっとぐんま観光キャンペーン事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	2観光振興費	
事業概要	事業の意図	(ア)みなかみ町の魅力を知ってもらう(イ)国・内外からの観光客に、みなかみ町の魅力を知ってもらう		平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性	
				7～9月(期間中)入込客数			1,112		千人	×	有効性
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案		①DMOの機能を持った組織の設立による、明確なコンセプトに基づいた情報発信・PRの実施			課題とその解決策			○	効率性
										○	公平性
							①観光協会を母体とした慎組織の設立②情報の統一化③明確なコンセプトに基づいたPRの実施				

21-01-000006		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	80,000 円				
<b>群馬県温泉協会参画事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	1観光総務費	
事業概要	事業の意図	県内の温泉利用及び調査にあたり十分な運営ができ、温泉利用者への情報提供を行う。		平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性	
				入湯税			134		百万円	×	有効性
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案		県温泉協会より知り得た情報を広く周知する必要がある			課題とその解決策			○	効率性
										○	公平性
							関係団体と連携を図り取り組む				

21-01-000007		担当組織	観光課 国際観光グループ			事業費	40,000 円				
<b>群馬県観光物産国際協会参画事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	1観光総務費	
事業概要	事業の意図	群馬県観光物産国際協会が円滑に運営される		平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性	
				キャラバン・キャンペーンの数			11		回	○	有効性
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案		行政主体でなく、観光協会をはじめ関係団体が自主的に参加しアピールする機会を増やす。積極的にマスコミにみなかみ町の魅力を発信する。			課題とその解決策			○	効率性
										○	公平性
							群馬県の中でいかにみなかみ町の魅力を発信できるか検討する。				

21-01-000008		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	45,000 円				
<b>国民保養温泉地協議会参画事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	1観光総務費	
事業概要	事業の意図	国民保養温泉地協議会が円滑に運営される		平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性	
				観光消費額			19,043		百万円	○	有効性
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案		少額の負担金ではあるが、パンフレットやインターネット等で広報しているので今後とも協議会に協力していくべきである			課題とその解決策			○	効率性
										○	公平性
							パンフレットやインターネット等でメインで載せてもらうには、負担金以外の費用も必要であるし総会等でも意見を述べなければならぬが今の現状では難しいと思われる。				

## 21 観光の振興

21-01-000009		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	8,000円			
<b>全国観光地所在町村協議会参画事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	1観光総務費
事業概要	事業の意図	全国観光地所在町村協議会が円滑に運営されている(地域住民及び観光客にとって、魅力ある地域社会の構築の実現を図るため)	平成27年度				単位	評価結果	○	目的妥当性
			町人口				20,496		人	○
事業概要	事業の意図	全国観光地所在町村協議会が円滑に運営されている(地域住民及び観光客にとって、魅力ある地域社会の構築の実現を図るため)	今後の改革改善案						○	効率性
									○	公平性
総括と今後の方向性	全体総括	全国観光地所在町村協議会参画事業に加盟し、毎年負担金を支払っているだけで、実際にみなかみ町の魅力を発信できていないかという疑問である。加盟していても意味がないように思えるため、脱会を考えるべきである。	今後の改革改善案							

21-01-000010		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	5,000円			
<b>日本さくらの会参画事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	1観光総務費
事業概要	事業の意図	日本さくらの会が円滑に運営されている(全国でのさくらの配布数)	平成27年度				単位	評価結果	×	目的妥当性
			配布市町村数				220		力所	○
事業概要	事業の意図	日本さくらの会が円滑に運営されている(全国でのさくらの配布数)	今後の改革改善案						○	効率性
									○	公平性
総括と今後の方向性	全体総括	事業が住民に十分周知されていない。負担金を支払っているだけで、町にはメリットがないと思われる。	今後の改革改善案	脱会を視野に入れる。						

21-01-000011		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	21,000円			
<b>日本温泉管理士会参画事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	1観光総務費
事業概要	事業の意図	日本温泉管理士会負担金が円滑に運営されている(町民、観光客が温泉に関する知識を向上させる)	平成27年度				単位	評価結果	×	目的妥当性
			温泉に関する知識を深めた割合				0		%	×
事業概要	事業の意図	日本温泉管理士会負担金が円滑に運営されている(町民、観光客が温泉に関する知識を向上させる)	今後の改革改善案						×	効率性
									○	公平性
総括と今後の方向性	全体総括	情報を入手し、町民・観光客に対し情報発信を行うことで、観光客誘致を図りたいが、セミナーに参加できていない。類似事業があるため、廃止・休止が可能である。	今後の改革改善案	群馬県温泉協会負担金事業との統合。						

21-01-000012		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	70,000円			
<b>日本温泉協会参画事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	1観光総務費
事業概要	事業の意図	国内の温泉利用及び調査にあたって、十分な運営ができ、温泉利用者への情報提供を行う。	平成27年度				単位	評価結果	○	目的妥当性
			入湯税				134		百万円	×
事業概要	事業の意図	国内の温泉利用及び調査にあたって、十分な運営ができ、温泉利用者への情報提供を行う。	今後の改革改善案						×	効率性
									○	公平性
総括と今後の方向性	全体総括	毎年度、負担金を支払うことのみ業務で、あとは会報や冊子等で情報を得るだけとなっている。幸いにして、現在温泉利用も特段問題が発生していないので、こういった状況になっている。類似事業があるため、廃止・休止が可能である。	今後の改革改善案	群馬県温泉協会負担金事業との統合。						

21 観光の振興

21-01-000013		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	295,000円			
日本観光振興協会参画事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	1観光総務費
事業概要	事業の意図	国内の観光振興の発展			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					観光客数	*****			人	<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>	効率性									
<input type="radio"/>	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	日本観光協会の負担金事務等を最低限の人員で行っており現状維持としたい。			今後の改革改善案	必要最小限で実施しており、現状維持が妥当である。			課題とその解決策	

21-01-000014		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	240,000円			
「道の駅」連絡会参画事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	2観光振興費
事業概要	事業の意図	「道の駅」連絡協議会が円滑に運営され、情報を得る事により、施設利用者に対するサービス向上が図られる。			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					情報発信件数	30			件	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	効率性									
<input type="radio"/>	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	休憩施設・観光施設・災害時の避難施設として、「道の駅」の果たすべき役割は大きい。今後も情報交換を行い、連携していくことが重要である。			今後の改革改善案	特になし			課題とその解決策	水紀行館は正式名称が「水上町水紀行館」となったままであり、合併後の名称として、ふさわしい登録名に変更する必要がある。沼田土木事務所と協議を行い平成25年度中には「みなかみ水紀行館」と変更することとなった。

21-01-000016		担当組織	観光課 国際観光グループ			事業費	15,999,390円			
観光ICT化促進事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	2観光振興費
事業概要	事業の意図	観光客数を増加させる			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					日帰り客数	2,643			千人	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	効率性									
<input type="radio"/>	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	今後ますます普及促進を図る必要がある。			今後の改革改善案	協力事業者数の拡大と、認知度の向上が重要。			課題とその解決策	重要分野だが、開発・運用・普及のための展開を図るには高額が経費が必要となる。

21-01-000017		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	5,551,959円			
みなかみ観光会議運営事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	2観光振興費
事業概要	事業の意図	観光旅行者が増加する。観光消費額が増加する。			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					観光客数	3,762			千人	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	効率性									
<input type="radio"/>	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	「みなかみ観光会議」今後のみなかみ町の観光振興を左右する重要な会議である。行政がリードし本物の「観光の町みなかみ」を作るあげていかなければならない。			今後の改革改善案	平成27年度繰越事業である。			課題とその解決策	平成27年度繰越事業である。

21 観光の振興

21-01-000018		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	7,792,200円				
<b>観光情報ハブ構築事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	2観光振興費	
事業概要	事業の意図	HPの閲覧を増やす		平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性	
		PV数		*****			回		×	有効性	
総括と今後の方向性	全体総括	効率的かつ効果的にプロモーションを行うためにも、各組織間のコミュニケーションを活性化させ情報の共有を推進すると共に、観光情報を一元化的に提供する仕組みを構築することで、情報の信頼性や利便性を高め、発達力を強化させる。		今後の改革改善案			課題とその解決策		各観光団体との意見交換やルール構築。		

21-02-000001		担当組織	観光課 自然観光グループ			事業費	70,000円				
<b>山岳遭難対策協議会運営支援事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	1観光総務費	
事業概要	事業の意図	安全な登山道を維持する		平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性	
		事案件数		19			件		○	有効性	
総括と今後の方向性	全体総括	今年度6年ぶりに行方不明者の捜索にあたった。急な要請にもかかわらず出動していただき遭対協の意義を示すことができた。		今後の改革改善案			課題とその解決策		協議会救助隊員の技量の向上		

21-02-000002		担当組織	観光課 自然観光グループ			事業費	円				
<b>利根川適正利用推進協議会運営事業</b>		予算科目	会計		款		項		目		
事業概要	事業の意図	アウトドア事業者による事故をなくし、安全で快適なアウトドアスポーツを推進する。		平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性	
		利用者					千人		×	有効性	
総括と今後の方向性	全体総括	死亡事故もなく無事シーズンが終了した。入込調査を今年度も行うことができなかった。		今後の改革改善案			課題とその解決策		アウトドア業者の条例等への理解		

21-02-000003		担当組織	観光課 自然観光グループ			事業費	0円				
<b>アウトドアスポーツ安全管理事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	2観光振興費	
事業概要	事業の意図	・事業者に安全で質の高いアウトドアスポーツを提供してもらう・安全で楽しく体験してもらう・環境に負荷を与えずにアウトドアスポーツを楽しむように。		平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性	
		事故発生件数		1			件		×	有効性	
総括と今後の方向性	全体総括	この事業は、アウトドアスポーツの振興することによって町の産業を活性化することであり、そのために町が条例と安全基準を制定が当面の目的であったが、両方が制定されたことにより、今後は条例と安全基準の周知と運用が重要となる。また、行政とアウトドア事業者が連携して更に充実したものになればならない。町としてはこの事業名ではなくアウトドアスポーツの振興を目的とした事業を展開する必要がある。		今後の改革改善案			課題とその解決策		関係事業所との目的の共有と共通理解、認識をもって取り組む必要がある。		

21 観光の振興

21-02-000006		担当組織	観光課 自然観光グループ			事業費	80,000円			
尾瀬交通対策協議会参画事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	1観光総務費
事業概要	事業の意図	尾瀬交通対策連絡協議会の運営が適切に運営され、尾瀬鳩待峠の交通規制の情報交換が可能となり、尾瀬の自然環境保全・利用の快適性と安全確保を図る。	平成27年度				単位	評価結果	○	目的妥当性
			津奈木交通規制中の通過車両台数(出入台数)				40,303		台	×
事業概要	事業の意図	町民及び観光客への情報発信として必要である。	今後の改革改善案	負担金の額の適正化の検討が必要である。			課題とその解決策	片品村主体協議会であり、隣接町村として参画しているので現状維持	×	効率性
				○	公平性					
総括と今後の方向性	全体総括									

21-02-000007		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	60,000円			
まちの駅連絡協議会運営事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	1観光総務費
事業概要	事業の意図	まちの駅連絡協議会を円滑に運営し、観光客におもてなししてもらひななみ町の魅力を知ってもらひ	平成27年度				単位	評価結果	×	目的妥当性
			おもてなしを実施している事業者				22		件	×
事業概要	事業の意図	現在のまちの駅の整備・運営を確立し、先々は参画事業者を引き継げれば良い。	今後の改革改善案	参画事業者を再募集し組織を拡充する。			課題とその解決策	参画事業者の意識改革を行い、連絡協議会を自立させる	×	効率性
				○	公平性					
総括と今後の方向性	全体総括									

21-02-000008		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	1,119,012円			
雪国観光圏事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	2観光振興費
事業概要	事業の意図	広域観光圏を通してみなかみ町の魅力を知ってもらひ。	平成27年度				単位	評価結果	×	目的妥当性
			マスコミ等メディア掲載数				6		回	×
事業概要	事業の意図	雪国観光圏も、観光圏のブランド化推進のため、また、官民の連携体制を強化するため戦略会議や各種WGの会議を開催している。	今後の改革改善案	平成26年度より観光地域ブランド確立を目指し官民一体の体制作りができる。			課題とその解決策	各関係市町村の温度差がまちまちである。今後官民一体の体制作りにより理解が深まっていくと思われる。	×	効率性
				○	公平性					
総括と今後の方向性	全体総括									

21-02-000009		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	5,391,274円			
歴史を活かしたまちづくり事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	2観光振興費
事業概要	事業の意図	文化財の由来やそれに関わる歴史上の人物の魅力を知ってもらひ。	平成27年度				単位	評価結果	○	目的妥当性
			歴史に興味を持っている町民の割合						%	×
事業概要	事業の意図	群馬DCや真田街道推進機構との連携もあり、名胡桃城址に重点をおいた取り組みを行い、昨年に比べ来場者数も増えた。来年度も同様な取り組みが中心となっていくと思われるが、町として歴史をどのように観光資源として活用していくか検討する必要がある。平成28年からNHK大河ドラマが「真田丸」に決定したことで名胡桃城址を訪れる観光客の数が増えている。放映開始前からの誘客が望まれている。	今後の改革改善案	名胡桃城址以外にも三国街道の宿場など観光資源としてどのように位置づけを行い、整備を行う必要があるかどうかの計画を立てる。			課題とその解決策	①歴史を活かしたまちづくり事業実行委員会の取扱 ②教育委員会との調整③名胡桃城址の価値を十分に町民に周知することにより、真田ブランドの相乗効果で観光客の増加につなげる。	○	効率性
				○	公平性					
総括と今後の方向性	全体総括									

21 観光の振興

21-02-000010		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	320,000円			
<b>スキー場連絡協議会参画事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	2観光振興費
事業概要	事業の意図	エリア内スキー場への来客者の増加			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					スキー場への来客数	355,043			人	<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>	効率性									
<input type="radio"/>	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	年間57万人訪れるスキー客をいかに宿泊に繋げるかが今後の課題である。そのためには、旅館ホテル等がどのようなことができるかまた行政はどのように支援できるか話し合っていかなければならない。			課題とその解決策	イベントの出展場所・時期の見直し、PR方法の見直しが必要宿泊業・飲食業・お土産業との更なる連携			

21-02-000011		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	603,039円			
<b>みなかみスノーフェスティバル事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	2観光振興費
事業概要	事業の意図	気軽に参加できるスキー大会を開催することにより、冬の自然の素晴らしさを沢山の方に知ってもらい、冬の観光振興に結びつける。			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					エントリー者	0			人	<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>	効率性									
<input type="radio"/>	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	本年も、デサントやドルなどから協賛を頂いた。今後、関係性を深め、冬の一大イベントにしていけるものとする。			課題とその解決策	パブリシティ活動を早め実施し、首都圏を中心とした参加者を増加させる必要がある。早めに大会内容をスキークラブと詰め、早めに広報し大会周知する必要がある。			

21-02-000012		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	2,957,524円			
<b>デサント藤原湖マラソン運営支援事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	2観光振興費
事業概要	事業の意図	大会への参加。一部の参加者においては町内での宿泊及び消費。			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					大会(当日)参加者数	1,632			人	<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>	効率性									
<input type="radio"/>	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	非常に歴史ある大会であり、古からの参加者も多いが、日帰りの方が多いためは否めない。観光協会や地元の宿泊施設とより深く連携する事によって、前日に宿泊する参加者を増やす事ができると考えられる。			課題とその解決策	国土交通省の協力が必要不可欠であるが、予算縮小となっており、会場整備において先行きが不透明な点。			

21-02-000013		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	10,000,000円			
<b>教育旅行支援事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	2観光振興費
事業概要	事業の意図	当町の豊富なアウトドアプログラムや農山村体験活動を実施することで、学ぶ意欲など教育効果を得る			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					教育旅行協議会への体験者数				人	<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>	効率性									
<input type="radio"/>	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	当町における教育旅行誘致は、みなかみ町教育旅行協議会を中心に進められているので、今後も町としてはオブザーバー的な立場で協力支援をしていく形でよいと思われる。			課題とその解決策	協議会体制が年々整ってきており、今後もサポートを継続することで、近年中には自立した体制が整うと思われる。			

21 観光の振興

21-02-000014		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	円			
<b>利根川源流まつり事業</b>		予算科目	会計		款		項		目	
事業概要	事業の意図	みなかみ町の魅力を知る。地域を好きになってもらう。			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
					源流の自然を満喫した人				2,100	人
総括と今後の方向性		全体総括	今後の改革改善案	実行委員会組織としたことで、安全対策も責任を持ってやっている		課題とその解決策			×	効率性
									○	公平性
実行委員会組織としたことで、地域のやる気も芽生えてきたところである。更なる集客を目指すため、インターネットの充実とマスメディア、地元観光事業者との連携が必要である。		今後の改革改善案		実行委員会組織としたことで、安全対策も責任を持ってやっている		課題とその解決策		実行委員会組織として、さらなる運営面の充実が望まれる		

21-02-000015		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	50,000円			
<b>日本ロマンチック街道協会参画事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	1観光総務費
事業概要	事業の意図	日本ロマンチック街道協会の運営が成り立ち、クイズラリー事業等が開催できる。※平成24年度は事業中止のため未実施※平成25年度まではステッカーラリーを実施			平成27年度		単位	評価結果	×	目的妥当性
					クイズラリー完走者				21	団体
総括と今後の方向性		全体総括	今後の改革改善案	・事務局となる民間業者を、別の業者にする。・脱退も含め、関与する方向を見直す。		課題とその解決策			×	効率性
									○	公平性
事務局(株式会社プロジェクト群馬県前橋市)の不透明な会計処理により、平成24年度については一旦クイズラリーの開催を中止した。みなかみ町としては、脱退も含め、関与する方向を見直す機会になりうると考える。作年度、平成26年度事業を白紙に戻したが、平成23年度以来のクイズラリーを嬉恋村が事務局をつとめ開催した。		今後の改革改善案		・事務局となる民間業者を、別の業者にする。・脱退も含め、関与する方向を見直す。		課題とその解決策		・町内関係事業者への説明・加盟している他市町村との関係性		

21-02-000016		担当組織	観光課 自然観光グループ			事業費	3,220円			
<b>日本リバーベンチャー大会支援事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	2観光振興費
事業概要	事業の意図	利根川源流の町「みなかみ」のブランド力アップ。			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
					新聞掲載				4	社
総括と今後の方向性		全体総括	今後の改革改善案	今後もみなかみ町をPRできる当大会に対し、協力して行くべきである。また、実行委員会も大会を通じてみなかみ町の宣伝を積極的に行っており、今後もパブリシティ活動の強化に努めたい。		課題とその解決策			○	効率性
									○	公平性
利根川の自然を観光資源として捉え、年に一度全国の大学生が集い大会を開催することは、観光振興や地域の活性化につながる。パブリシティ活動も前年に引き続き行ったため、みなかみ町のPRにつながった。地元飲食店業者などによる物産展は参加者からも喜ばれた。今後は地域住民との交流の機会を増やす必要がある。		今後の改革改善案		今後もみなかみ町をPRできる当大会に対し、協力して行くべきである。また、実行委員会も大会を通じてみなかみ町の宣伝を積極的に行っており、今後もパブリシティ活動の強化に努めたい。		課題とその解決策		全国から集まる参加者に、場所だけの提供で終わらぬよう地域に根ざした大会にする。また、参加者に再びみなかみ町へ来てもらえるよう地元の受入協力体制を強化する。		

21-02-000017		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	0円			
<b>谷川岳八景推進事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	2観光振興費
事業概要	事業の意図	谷川岳を通じてみなかみ町の魅力を知ってもらう。			平成27年度		単位	評価結果	×	目的妥当性
					自分の住む地域が美しい景観であると感じている割合				76	%
総括と今後の方向性		全体総括	今後の改革改善案	今後はスタンプラリーなどのイベントを実施して、なおなお一層の周知に努め、増客を図る。		課題とその解決策			○	効率性
									○	公平性
平成22年度で八景を選定し、該当箇所に看板を設置した。平成23年度は八景を広め、誘客を図るためにリーフレットを作成した。リーフレットは町内主要施設だけでなく、町外の道の駅にも配置していただき、周知に努めた。		今後の改革改善案		今後はスタンプラリーなどのイベントを実施して、なおなお一層の周知に努め、増客を図る。		課題とその解決策		八景ビューポイントの位置が分かりづらいので、案内板を設置するなどの対策が必要である。		

21 観光の振興

21-02-000018		担当組織	観光課 自然観光グループ			事業費	3,669,385円			
谷川岳登山道等管理事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費
事業概要	事業の意図	安全な登山道の維持			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					事故件数	19			件数	<input type="radio"/>
総括と今後の方向性	全体総括	今後管理する登山道の見直しも必要になる。草刈り終了時期・刈り方等隣県と合わせることも必要。			今後の改革改善案		課題とその解決策		<input type="radio"/>	効率性
									<input type="radio"/>	公平性
									<input type="radio"/>	公平性
									登山道の見直しについては、委託をお願いしている関係者とよく協議をする。また、県境をまたぐ市町村間の担当者とも情報交換をする必要がある。	

21-02-000019		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	45,900円			
山岳資料館(土合)運営事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費
事業概要	事業の意図	みなかみ町の自然(谷川岳)の魅力を登山者に伝える。			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					来館者	13,400			人	<input type="radio"/>
総括と今後の方向性	全体総括	八木原さんを館長に迎えより充実した施設になって来ている。			今後の改革改善案		課題とその解決策		<input type="radio"/>	効率性
									<input type="radio"/>	公平性
									地域住民が谷川岳の魅力を再認識することが必要だ。	
									更に谷川岳も魅力をPRし、集客に結びつける。また、来年度以降、環境省事業であるインフォメーションセンターの設置についても大きく係わる事業であるため。慎重に話し合っていきたい。	

21-02-000020		担当組織	観光課 自然観光グループ			事業費	1,781,706円			
山岳資料館(湯原)運営事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費
事業概要	事業の意図	みなかみ町の自然(谷川岳)の魅力を登山者に伝える。			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					来館者	1,229			人	<input type="radio"/>
総括と今後の方向性	全体総括	温泉街の数少ない観光施設なので谷川岳の資料館と連携をしより充実した施設にしていきたい。			今後の改革改善案		課題とその解決策		<input type="radio"/>	効率性
									<input type="radio"/>	公平性
									地域住民が谷川岳の魅力を再認識することが必要だ。	
									更に谷川岳も魅力をPRし、集客に結びつける。	

21-02-000021		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	1,034,980円			
武尊山登山道等管理事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費
事業概要	事業の意図	登山道を維持管理し、登山者に安全で快適な登山をしてもらう。			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					事故件数	5			件	<input type="radio"/>
総括と今後の方向性	全体総括	条件の違う登山道の草刈りを行うため刈る時期等の時間的ずれがあった。			今後の改革改善案		課題とその解決策		<input type="radio"/>	効率性
									<input type="radio"/>	公平性
									委託作業の均等化を図る。	
									条件の違う登山道を時期を統一し草刈りを行うよう指導する	

21 観光の振興

21-02-000022		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	668,460円			
大峰山登山道等管理事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費
事業概要	事業の意図	安全な登山道の維持			平成27年度			単位	評価結果	<input type="radio"/> 目的妥当性
					事故件数	0	件			<input type="radio"/> 有効性
総括と今後の方向性	全体総括	引続き、業務委託をしていく必要があると思われる			今後の改革改善案	キャンプ場施設撤去に伴い、地権者である林野庁と協議のうえ、借地面積の直し等の検討が必要である。			課題とその解決策	<input type="radio"/> 効率性
										<input type="radio"/> 公平性
大峰山沿水生昆虫等の捕獲規制が無い為、WEB等の投稿記事を見て、県内外よりの捕獲者が来ていると保護活動者より情報提供があります。自然保護の観点から、町・県と協議し規制の制定が必要と思われる。										

21-02-000023		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	1,987,800円			
三国山・平標山登山道等管理事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費
事業概要	事業の意図	平標山の魅力を発信し、登山者の安全を促す。			平成27年度			単位	評価結果	<input type="radio"/> 目的妥当性
					登山事故	0	人			<input type="radio"/> 有効性
総括と今後の方向性	全体総括	登山者の安全や、環境保全という面で情報発信はできているといえる、しかしながら、委託事業に関して受託者が高齢化してきているので今後の検討が必要である			今後の改革改善案	受託者の高齢化してきているため今後登山道管理方法について検討が必要であるまた、草刈り終了時期についても谷川地区と合わせていくことも検討される。平標・三国山系の歩道状況、階段、歩道柵(ロープ)ベンチ、道標等の改修について、引き続き関係機関と協議検討が必要である			課題とその解決策	<input type="radio"/> 効率性
										<input type="radio"/> 公平性
歩道及びこれに付随する階段・道標等々の改修には多額の費用が発生するため、環境省、県と補助金等を活用できないか協議を進めてい事が必要である。										

21-02-000024		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	1,046,100円			
平標山の家管理運営事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費
事業概要	事業の意図	登山者に安全な登山や快適な施設利用をしてもらう			平成27年度			単位	評価結果	<input type="radio"/> 目的妥当性
					施設に対する苦情件数	0	件			<input checked="" type="radio"/> 有効性
総括と今後の方向性	全体総括	登山者の安全確保、もてなしという面で有効な施設である。			今後の改革改善案	今後は、広報活動を進め、利用者の増加を図っていかなければならない。			課題とその解決策	<input type="radio"/> 効率性
										<input type="radio"/> 公平性
平標山だけでなく、谷川連峰を一体としてPRしていく必要がある。										

21-02-000025		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	833,459円			
諏訪峡・利根川遊歩道等管理事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費
事業概要	事業の意図	安全で快適な状態			平成27年度			単位	評価結果	<input type="radio"/> 目的妥当性
					苦情件数	0	回			<input checked="" type="radio"/> 有効性
総括と今後の方向性	全体総括	利根川遊歩道・諏訪峡遊歩道共に貴重な観光施設なので地元住民と連携をしてより充実した施設にしていかなければならない。			今後の改革改善案	利根川遊歩道は、地元区に地元にある貴重な観光資源である事を自覚してもらい、花を植えるなどお客様に喜ばれる観光施設にしていかなければならない。諏訪峡遊歩道は、水紀行館やガイド協会などと連携し管理整備に努めていかなければならない。			課題とその解決策	<input type="radio"/> 効率性
										<input type="radio"/> 公平性
関係者との定期的な話し合いや、施設の定期的な巡視										

## 21 観光の振興

21-02-000026		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	11,264,400円				
諏訪峡歩道整備事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費	
事業概要	事業の意図	通行止め区間の開通管理道路の開通			平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性
					通行止め区間の開通					500	m
事業概要	事業の意図	長年の懸案事項であった通行止め区間の開通は、関係者大変喜ばれた。また管理道路が整備されたことにより晶子公園・諏訪峡歩道の整備時間の短縮が図れる。			今後の改革改善案	落石等危険箇所もあるので安全確保に気を付けていきたい。			課題とその解決策	×	効率性
										○	公平性
総括と今後の方向性	全体総括				今後の改革改善案				課題とその解決策	人員・予算の確保	

21-02-000027		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	612,497円				
藤原湖畔公園管理事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費	
事業概要	事業の意図	安全で快適な施設になる。			平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性
					利用者					4,400	人
事業概要	事業の意図	地元に必要な施設であるので地元住民による維持管理組織ができた。今後は夏休みに集中している利用を年間を通して利用していただける方を地元と行政で考えていかなければならない。そうでなければせっかくの素晴らしい施設が活かされない。			今後の改革改善案	施設の維持管理組織の強化・役割分担の明確化年間を通しての利用促進。			課題とその解決策	×	効率性
										○	公平性
総括と今後の方向性	全体総括				今後の改革改善案				課題とその解決策	自分たちの生活にかかることなので、素晴らしい施設の有効利用を自分たちで考えていただきたい。	

21-02-000028		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	11,779,292円				
武尊青少年旅行村等管理運営事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費	
事業概要	事業の意図	効率的な管理運営とサービスの充実により、地域の各施設となる。			平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性
					キャンプ場入込み数					6,533	人
事業概要	事業の意図	町施設分を指定管理者に委託し、県有施設と一体的に管理することで、今後も地域の活性化や観光振興につながる。			今後の改革改善案	用地の支払い事務については町が地権者と群馬県・武尊山観光の間に入っているため、改善が必要と思われる。			課題とその解決策	×	効率性
										○	公平性
総括と今後の方向性	全体総括				今後の改革改善案				課題とその解決策	用地の支払いの改善について、地元住民と県との調整役となるのが町だが、地元住民は町が仲介役として入る事を望んでいる。	

21-02-000029		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	178,867円				
奈良俣サービスセンター管理運営事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費	
事業概要	事業の意図	効率的な管理運営とサービスの充実により、地域の核施設となる。			平成27年度			単位	評価結果	○	目的妥当性
					奈良俣サービスセンター入込み数						人
事業概要	事業の意図	年度協定締結事務と事業成果報告書受領のほか、事務調整会議を開催したが、年々減少する入り込み客に対して、増客のための提案が出来なかった。			今後の改革改善案	経営方針等について指定管理者側の理念を尊重することは大切だが、指定管理者が第三セクターでもあることから、増客のための新しい事業の提案は必要である。			課題とその解決策	○	効率性
										○	公平性
総括と今後の方向性	全体総括				今後の改革改善案				課題とその解決策	地域と指定管理者とのコミュニケーション。	

21 観光の振興

21-02-000030		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	784,224円				
国民休養施設管理運営事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費	
事業概要	事業の意図	安全で快適な施設になる。			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性	
					利用者	840			人	×	有効性
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	地元にとっては貴重な体育施設なので、年間を通して観光振興に繋がる方策を、官民で考えていただきたい。			課題とその解決策	補助金で建てた施設なので、簡単に払い下げができない状況にあるが、規模からして払い下げを考えるべきである。				

21-02-000031		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	226,000円				
愛宕山公園管理事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費	
事業概要	事業の意図	快適な施設			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性	
					苦情件数				件	○	有効性
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	お客様に来ていただける場所にしたい。			課題とその解決策	施設の充実。ヒル対策				

21-02-000032		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	12,000円				
鹿野沢水芭蕉園管理事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費	
事業概要	事業の意図	良好な状態			平成27年度		単位	評価結果	×	目的妥当性	
					苦情件数	0			件	×	有効性
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	地元の皆様に管理を充実していただき、お客様に見ていただけるような場所にしていきたい。			課題とその解決策	地元の皆様の理解と意欲				

21-02-000033		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	12,289,508円				
観光会館管理運営事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費	
事業概要	事業の意図	観光会館を快適に利用してもらう。			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性	
					利用に関するクレーム数	0			件	○	有効性
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	必要最低限の予算措置が執られており、現状維持が妥当である。			課題とその解決策	施設が老朽化していることもあり、今後も修繕等が必要になってくる箇所も増える。また、コンベンション利用するお客は、無線LAN等を利用する方もいるので、そういった施設整備をすることで、コンベンションホールとしての利用性を高め、誘客に繋がればよいと思う。				

21 観光の振興

21-02-000034		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	7,362,195円			
猿ヶ京温泉給湯施設管理運営事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費
事業概要	事業の意図	いつでも安心して温泉を利用できるように			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
					年間事故件数	1			件	×
×	効率性									
○	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	温泉の安定供給を図るため、指定管理者と協議し計画的に施設の修繕を行う必要がある。			課題とその解決策	計画的に修繕が必要な箇所から順次実施する。指定管理者と連携を図り成果を向上させていきたい。			

21-02-000036		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	3,508,694円			
相俣ダム周辺レクリエーション施設管理運営事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費
事業概要	事業の意図	快適・安全に利用してもらう状態にする。			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
					利用者数	8,282			人	×
○	効率性									
○	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	更に施設の充実を図り、情報発信することで利用者の増加が見込まれる。			課題とその解決策	指定管理者がアウトドア関係団体等と連携し、施設のPRを拡大すること。			

21-02-000037		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	24,958,164円			
赤沢スキー場管理運営事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	4赤沢スキー場費
事業概要	事業の意図	快適に・安全に利用してもらう状態にする。			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
					事故発生数	0			件	×
○	効率性									
○	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	近年にない雪不足為、休業をせざるを得ない状況が生じた。このようなことから引き継ぎ人工降雪機の設置状況の見直し検討により、営業日数の安定化と宿泊者、利用者の増容をはかる。また、第2ゲレンデの斜度の変更及び雪崩等の自然災害防止を含めコース改修土工事の必要性があると思われる。引き続き活性化実行委員会と連携をし、夏場の施設利用も含めたなかで、事業をどのようにして行くか検討が必要である。			課題とその解決策	今年度のような暖冬に対し、人工降雪機について、現在レンタル対応だが自社保有にする等、よりよいシステムの見直し検討、第2ゲレンデを含むゲレンデ改修やオフシーズンにおけるゲレンデの活用等の検討が必要。また、活性化実行委員会との今後の連携、町営としての事業の在り方について関係機関との早期検討が必要である。			

21-02-000039		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	152,540円			
猿ヶ京ふれあい広場管理事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費
事業概要	事業の意図	快適・安全に利用してもらう状態にする。			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
					修繕の件数	0			件	○
○	効率性									
○	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	民宿宿泊者による施設の利用が多いので、猿ヶ京温泉民宿組合が管理することで、利用者が満足できる施設状態が保たれているため、現状維持が好ましい。また、現在水車が回らない状態であるため修繕が必要である。			課題とその解決策	水車を修繕しても水車の利用が見込めない。			

21 観光の振興

21-02-000040		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	121,528円			
猿ヶ京資料館管理運営事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費
事業概要	事業の意図	快適・安全に利用してもらう状態にする。			平成27年度		単位	評価結果	×	目的妥当性
					施設使用日数	10			日	×
×	効率性									
○	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	施設の活用を増やす取り組みが必要である。	今後の改革改善案	利用方法を再検討して、地域において有効的な利用方法がない場合は、事業を廃止する必要がある。			課題とその解決策			

21-02-000041		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	9,152,620円			
猿ヶ京温泉くつろぎ広場・屋内運動場管理事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費
事業概要	事業の意図	快適・安全に利用してもらう状態にする			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
					利用者数	537			人	×
○	効率性									
○	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	指定管理者が地域住民等と話し合い、利用しやすいよう検討する必要がある。	今後の改革改善案	利用者を増やすためにみなかみ地区全体の施設ととらえ、指定管理者・地域住民等で気軽に利用できる施設になるよう検討する必要がある。(イベント等の開催を行う)			課題とその解決策	土地借上料等の経費の削減、及び利用者増による収入の増加。		

21-02-000042		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	220,400円			
湯宿温泉屋内運動場管理運営事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費
事業概要	事業の意図	快適・安全に利用してもらう			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
					利用者数	930			人	×
○	効率性									
○	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	方向性としては適切と思われるが、現在は決まった団体だけの利用となっているので、利用方法等を指定管理者と検討する必要がある。	今後の改革改善案	地域住民の数が少ない交流の場所にもなっているため、現状維持が妥当と思われるが、それだけでは光熱費等の経費を捻出するのは厳しい状況にある。今後地域住民以外にも施設を開放し、利用料の見直しも含めて検討する必要があると思う。			課題とその解決策	計上されている費用は指定管理料及び土地借用料のみであるため経費削減はできない状態である。また、ゲートボール以外の使用を多くするとコートが傷んでしまうためその後ゲートボールでの使用が困難となってしまう。		

21-02-000043		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	3,292,009円			
たくみの里施設管理事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費
事業概要	事業の意図	快適・安全に利用してもらう状態にする			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
					クレーム件数	0			件	×
○	効率性									
○	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	指定管理者だけでなく、地元住民、地元観光事業者と協力して、宣伝などの情報発信を行い、誘客を図る必要がある施設の老朽化に対しては計画的な行う必要がある	今後の改革改善案	利用者を増加させるための情報発信及び施設の修繕を適宜計画しながら実施			課題とその解決策	観光パンフの充実、イベントの実施、観光関係者・指定管理者との連携		

## 21 観光の振興

21-02-000044		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	3,345,399円			
須川宿資料館管理運営事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費
事業概要	事業の意図	快適・安全に利用してもらう状態にする			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					入館者数	2,147			人	<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>	効率性									
<input type="radio"/>	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	施設の改修を計画的に行う資料館の利用者増加を図るため、資料を収集、保存、公開し興味と関心を促すとともに、たくみの里内関係者との連携したPR活動を行う。	今後の改革改善案	有効性を考慮し、たくみの里総合案内所の役割もあるみなかみ農村公園公社に委託するもの一つの手段である	課題とその解決策	たくみの里全体で誘客を図れるような体制をとっていく必要がある				

21-02-000045		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	2,138,300円			
ファミリーオみなかみ運営支援事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費
事業概要	事業の意図	健全な管理運営とサービスの充実により、たくみの里活性化を担う施設になる。			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					土地賃貸借契約者数	9			人	<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>	効率性									
<input type="radio"/>	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	たくみの里の観光客増加を図るため、現状維持で取り組みたい。	今後の改革改善案	必要最小限で実施しており、現状維持が妥当である。	課題とその解決策	特になし				

21-02-000046		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	254,600円			
川手山森林公園管理事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費
事業概要	事業の意図	安全な登山道及び施設維持			平成27年度		単位	評価結果	<input type="checkbox"/>	目的妥当性
					事故件数	0			件	<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>	効率性									
<input type="radio"/>	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括		今後の改革改善案	草刈委託者と協議し、春先については、臨時職員も導入し歩道以外の整備も行いたい	課題とその解決策	草刈受託者と協議が必要				

21-02-000047		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	4,565,392円			
名胡桃城址案内施設管理運営事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費
事業概要	事業の意図	名胡桃城址に来訪されたお客様のうち、多くの方に案内所を快適に利用していただく。			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					案内所入館者数	14,160			人	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	効率性									
<input type="radio"/>	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	群馬DCをきっかけとして、名胡桃城址へのお客様が増え意義のある事業である。歴史ガイドの会の皆さんも頑張っているの、コストを抑えながら、運営していければよい。	今後の改革改善案	①コストの削減	課題とその解決策	①資料展示室のライトの再選定をすることで、若干の電気代削減を図れるのではないかとと思われる。				

21 観光の振興

21-02-000048		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	円			
谷川町営テニスコート管理運営事業		予算科目	会計		款		項		目	
事業概要	事業の意図	快適に利用できる施設			平成27年度		単位	評価結果	×	目的妥当性
					苦情件数	件			×	有効性
×	効率性									
○	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案				課題とその解決策				

21-02-000049		担当組織	地域整備課 都市計画グループ			事業費	184,000円			
湯桧曽足湯施設管理運営事業		予算科目	会計	一般会計	款	2総務費	項	1総務管理費	目	17温泉施設費
事業概要	事業の意図	利用者が気持ちよく安全に施設を利用出来る状態にする。			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
					施設維持管理上の不具合・トラブル発生件数	0			件	×
○	効率性									
○	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	平成22年度よりゆびそ塾へ湯桧曽公園とともに指定管理を委託してるが、足湯自体が無料施設であるため利益の向上につなげていないのが現状である。			課題とその解決策	なし			

21-02-000050		担当組織	地域整備課 都市計画グループ			事業費	197,180円			
湯原温泉公園管理運営事業		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	4都市計画費	目	4公園費
事業概要	事業の意図	利用者が気持ちよく安全に施設を利用出来る状態にする。			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
					施設維持管理上の不具合・トラブル発生件数	1			件	×
○	効率性									
○	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	公園発足当初より地元住民による運営委員会が主体的に管理(清掃など)を行っている。高木の枝の落下による事故を防ぐため、きめ細かな点検を実施、造園業者などへの委託等を取り入れ安全管理に努める。			課題とその解決策	予算の確保			

21-02-000051		担当組織	まちづくり交流課 商工振興グループ			事業費	684,000円			
稲荷の湯管理事業		予算科目	会計	一般会計	款	2総務費	項	1総務管理費	目	17温泉施設費
事業概要	事業の意図	いつでも利用できる状態			平成27年度		単位	評価結果	×	目的妥当性
					稼働日数	0			日	×
○	効率性									
○	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	浚渫工事を行うべきか、又はその他の有効活用を探るのかを検討する必要がある。尚、有効活用の方法としては、工事費として約50万円が必要となってくるが、ふれあい交流館のシャワーに引湯することもひとつの案として考えられる。			課題とその解決策	事業を廃止(組合を脱退)すると稲荷の湯管理組合の運営が行きづまり、当源泉を利用している旅館等に悪影響を与える可能性がある。将来的に温泉として利用するためには、源泉の浚渫工事をしなければならぬが、権利者の工事費負担割合の調整が難しい。			

21 観光の振興

21-02-000052		担当組織	まちづくり交流課 商工振興グループ			事業費	5,737,750円			
湯テルメ・谷川管理運営事業		予算科目	会計	一般会計	款	2総務費	項	1総務管理費	目	17温泉施設費
事業概要	事業の意図	来場者が安全・快適に利用できる状態にする。			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
					来場者数	63,621			人	×
今後の改革改善案	課題とその解決策	○	効率性							
		○	公平性							
総括と今後の方向性	全体総括	今後も建設理念に沿った施設運営を行っていただけるよう、町と指定管理者が協調していくことが大切である。			老朽化に伴う修繕が発生する確率が高くなってきているため、指定管理者と今後の施設改修計画について協議を重ねていく必要がある。		修繕費用の確保。			

21-02-000053		担当組織	まちづくり交流課 商工振興グループ			事業費	9,659,426円			
ふれあい交流館管理運営事業		予算科目	会計	一般会計	款	2総務費	項	1総務管理費	目	17温泉施設費
事業概要	事業の意図	来場者が安全・快適に利用できる状態にする。			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
					来場者数	32,797			人	×
今後の改革改善案	課題とその解決策	×	効率性							
		○	公平性							
総括と今後の方向性	全体総括	土地賃貸借料の値下げについて、土地所有者の同意が得られ、更新契約の締結が行えたことが非常に大きい。			指定管理料及び温泉使用賃貸借料についても順次値下げの交渉をしていく必要がある。		温泉使用料については適正な基準価格がないに等しいため、現状の1,800,000円という金額が適正か否かがはっきりと判別できない。			

21-02-000054		担当組織	まちづくり交流課 商工振興グループ			事業費	9,600,000円			
真沢の森管理運営事業		予算科目	会計	一般会計	款	2総務費	項	1総務管理費	目	17温泉施設費
事業概要	事業の意図	来場者が安全・快適に利用できる状態にする。			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
					来場者数	17,672			人	×
今後の改革改善案	課題とその解決策	○	効率性							
		○	公平性							
総括と今後の方向性	全体総括	今後も建設理念に沿った施設運営を行っていただけるよう、町と指定管理者が協調していくことが大切である。尚、平成27年8月から開始した渡り廊下改修工事については、平成28年度への繰越事業となったが、平成28年6月には完了する見込みとなっている。			老朽化に伴う修繕が発生する確率が高くなってきているため、指定管理者と今後の施設改修計画について協議を重ねていく必要がある。		修繕費用の確保。			

21-02-000055		担当組織	まちづくり交流課 商工振興グループ			事業費	17,772,086円			
温泉センター(三峰の湯)管理運営事業		予算科目	会計	一般会計	款	2総務費	項	1総務管理費	目	17温泉施設費
事業概要	事業の意図	快適安全に利用してもらう			平成27年度		単位	評価結果	×	目的妥当性
					利用者数	43,326			人	○
今後の改革改善案	課題とその解決策	○	効率性							
		○	公平性							
総括と今後の方向性	全体総括	小さな日帰り温泉施設にもかかわらず、毎日たくさんのお客様に来ていただいている。温泉自体の評判も良く毎週県外から訪れるお客様もいる。しかしながら、施設・ポンプの老朽化が激しく施設においては毎年数カ所を修繕行い、ポンプにおいては今度故障した場合取り替えなければならない状況である。それらを踏まえ今後の運営形態等早急に検討する必要があると思われる。			町内に町が関係する日帰り温泉施設が数カ所あるが現在運営主体はそれぞれ別々である。これら運営主体を一括とし経費節減と運営の効率化を図る。		それぞれの施設が懸命な努力をしながら黒字化すべく経営している。そのため運営主体をまとめるのは難しいが、町の方針を打ち出し強引にでも行うべきである。			

21 観光の振興

21-02-000056 ふれあい・やすらぎ温泉センター(風和の湯)管理運営事業		担当組織	まちづくり交流課 商工振興グループ			事業費	6,372,400円			
事業概要		予算科目	会計	一般会計	款	2総務費	項	1総務管理費	目	17温泉施設費
事業の意図	来場者が安全・快適に利用できる状態にする。	平成27年度					単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
		来場者数					21,834		人	<input type="checkbox"/>
事業の意図	来場者が安全・快適に利用できる状態にする。	平成27年度					単位	評価結果	<input type="radio"/>	効率性
		来場者数					21,834		人	<input type="radio"/>
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	老朽化に伴う修繕が発生する確率が高くなってきているため、指定管理者と今後の施設改修計画について協議を重ねていく必要がある。			課題とその解決策	修繕費用の確保。			

21-02-000057 猿ヶ京温泉交流公園(満天星の湯)管理運営事業		担当組織	まちづくり交流課 商工振興グループ			事業費	8,194,640円			
事業概要		予算科目	会計	一般会計	款	2総務費	項	1総務管理費	目	17温泉施設費
事業の意図	来場者が安全・快適に利用できる状態にする。	平成27年度					単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
		来場者数					101,052		人	<input type="checkbox"/>
事業の意図	来場者が安全・快適に利用できる状態にする。	平成27年度					単位	評価結果	<input type="radio"/>	効率性
		来場者数					101,052		人	<input type="radio"/>
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	来場者が安全・快適に利用できるよう、またリポートしてくれるよう、経年劣化による施設修繕を定期的に行い、常に施設の美化・維持に努めてかなくてはならない。また、指定管理者も創意工夫をこらし、町外来場者の集客に尽力しているが、町側も集客につながるような提案をするなどのバックアップ体制を構築していく必要がある。			課題とその解決策	修繕費用の確保。			

21-02-000058 山岳トイレ整備事業		担当組織	観光課 自然観光グループ			事業費	0円			
事業概要		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費
事業の意図	・尿尿等で汚染されていない。・快適な登山をすることができる。	平成27年度					単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
		尿尿等に関するクレーム数					0		人	<input type="radio"/>
事業の意図	・尿尿等で汚染されていない。・快適な登山をすることができる。	平成27年度					単位	評価結果	<input type="radio"/>	効率性
		尿尿等に関するクレーム数					0		人	<input type="radio"/>
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	H26実施した調査を活かしたさらに専門的な調査を実施し、H28で工事着工できるよう進めていく。			課題とその解決策	なし			

21-02-000061 旅館・ホテル耐震診断事業費補助金交付事業		担当組織	地域整備課 都市計画グループ			事業費	49,114,000円			
事業概要		予算科目	会計	一般会計	款	8土木費	項	5住宅費	目	1住宅管理費
事業の意図	耐震診断を実施し、その耐震性能評価を県に報告する。	平成27年度					単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
		報告件数					4		件	<input type="radio"/>
事業の意図	耐震診断を実施し、その耐震性能評価を県に報告する。	平成27年度					単位	評価結果	<input type="radio"/>	効率性
		報告件数					4		件	<input type="radio"/>
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	5千㎡以下の旅館ホテルに対する耐震診断事業の検討耐震改修事業の検討結果平成28年度当初予算に計上されている。			課題とその解決策	事業費の確保が必要			

## 21 観光の振興

21-02-000062		担当組織	観光課 自然観光グループ			事業費	150,000円				
<b>三峰山登山道等管理事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費	
事業概要	事業の意図	登山道を維持管理し、登山者に安全で快適な登山をしてもらう。			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性	
					作業実施延長				8	km	<input type="radio"/>
総括と今後の方向性	全体総括	条件の違う登山道の草刈りを行うため刈る時期等の時間的連れがあった。			今後の改革改善案		条件の違う登山道を時期を統一し、草刈りを行うよう指導する。			課題とその解決策	
											委託作業の均等化を図る。

21-02-000063		担当組織	観光課 自然観光グループ			事業費	円				
<b>トレイルランニング大会事業</b>		予算科目	会計		款		項		目		
事業概要	事業の意図	参加者が増加。			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性	
					参加者数				151		<input checked="" type="radio"/>
総括と今後の方向性	全体総括	大会自体はなんとか間に合ったが、準備段階で川場の事務局の事務手続きが遅れたり行わなかったりするの、注視していくことが必要である。			今後の改革改善案		第2回の大会では、参加者が120kmは集まるが60kmと30kmが集まらなかった。そのため、昨年よりエントリーを約1ヶ月早くするとともに、受付を前日だけでなく当日にもできるようにした。			課題とその解決策	
											前年の反省会などがないため、なぜ集まらなかったのか関係者の意見をしっかり集め分析していくことが重要。

21-02-000064		担当組織	まちづくり交流課 地域振興グループ			事業費	7,132,299円				
<b>たくみの里活性化事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	2総務費	項	1総務管理費	目	7地域振興費	
事業概要	事業の意図	観光客の増加域内消費額の増加たくみの家の新規就業者の増加			平成27年度		単位	評価結果	-	目的妥当性	
					入り込み観光客数				384	千人	<input checked="" type="radio"/>
総括と今後の方向性	全体総括	たくみの里ホームページを立ち上げ、情報発信に努めた。今後は情報発信だけでなく、受け入れ体制を整備し、リピーターが増えるような取り組みを進めていかなければならない。			今後の改革改善案		体験施設の後継者不足が問題になっているので、チャレンジショップを整備して、期間限定で経営を体験していただくなど、起業につながるような取り組みを行う必要がある。			課題とその解決策	
											チャレンジショップの利用希望者を募っても希望者がいるかどうか予測できない。

21-02-000065		担当組織	観光課 自然観光グループ			事業費	1,639,443円				
<b>谷川岳「山の日」制定記念プロジェクト補助金交付事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	2観光振興費	
事業概要	事業の意図	谷川岳を深く楽しんで頂けるようにガイドングする安全に谷川岳の自然と触れあう			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性	
					山の日ツアー参加者数				48		<input checked="" type="radio"/>
総括と今後の方向性	全体総括	今年度はイベントとして開催、来年度は初の山の日イベントとして開催するが、再来年度以降どのような形で継続していくかが要検討となる。			今後の改革改善案		よりいっそう地域を巻き込んだ形での開催を擦るために、宿泊事業社との連携等を強めていきたい			課題とその解決策	
											呼びかけ

21 観光の振興

21-03-000001		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	6,615,343円			
観光センター1階管理運営事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	5観光センター費
事業概要	事業の意図	総合的な観光案内ができ、地域の物産品の普及宣伝ができるよう安全に利用してもらう。			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					観光センター利用客数	20,951			人	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	効率性									
<input type="radio"/>	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	老朽化する施設の大規模改修によるコスト削減、駐車スペースの確保			課題とその解決策	平成24年度よりみなかみ町観光センターとして一般会計にて管理運営するため、新たな活用方針の検討が必要である。			

21-03-000002		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	3,851,328円			
観光センター2階管理運営事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	5観光センター費
事業概要	事業の意図	快適・安全に利用してもらう状態にする。			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					観光センター2階を訪れた方及び会議室を使用した方の苦情件数	0			件	<input type="checkbox"/>
<input type="checkbox"/>	効率性									
<input type="radio"/>	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	電気や水道料の節減事務費の有効活用			課題とその解決策	まちづくり交流課・商工会と連携して実施する。			

21-03-000003		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	5,148,000円			
観光戦略プラン実践事業補助金交付事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	2観光振興費
事業概要	事業の意図	イベント・事業が行いやすくなる			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					補助金額				千円	<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>	効率性									
<input type="radio"/>	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	団体から申請のあった事業について行ってきたが、今後は町民全体に周知し、各地域が活性化となる事業に取り組むよう働きかける。事業認定は担当者の判断で決済を受けているが、今後出来れば第三者的な検討する組織を作り参考意見をつけた上で決済を受ける方法としたい。			課題とその解決策	事業費90%の補助金は、事業実施団体には負担が多いと感じられる。自己負担額を減らせれば利用する団体も増え、活性化に繋がってくる。但し補助金の総額は10,000千円以内として、事業の選択を行う。			

21-03-000004		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	2,731,256円			
観光施設環境美化事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費
事業概要	事業の意図	施設の整備充実			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					勤務日数	379			日	<input type="checkbox"/>
<input type="radio"/>	効率性									
<input type="radio"/>	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	職員が減少するなか、今後も臨時職員を雇用し施設の維持管理することが必要不可欠だと思ふ。			課題とその解決策	数多くある施設を維持管理するには、多大な業務増に繋がると思われる。どの課も人員が減少するなか非常に厳しいが、今後は担当課決め雇用する臨時職員をコントロールし維持管理を行うしかないと思う。また賃金と労働条件を鑑み、適正な賃金体制を整えないと、今後臨時職員のなり手がなくなる。			

## 21 観光の振興

21-03-000005		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	340,000円			
<b>大穴町営駐車場管理運営事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費
事業概要	事業の意図	効率的な管理運営とサービスの充実により、地域の核施設となる。			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					クレーム件数	0			件	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	効率性									
<input type="radio"/>	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	トイレ清掃や駐車場の草刈り等を地域が主体となって取り組んでいる。また、施設を地域の皆さんが管理している事で少しずつ愛着を抱いている。			今後の改革改善案	今年度については特になし。			課題とその解決策	リスク分担表により責任を明確化しているが、小規模修繕の場合であっても任意団体である大穴区に費用を負担させることできるのか?区費を集めて管理している部分もあり、区費で町営施設を修繕させるのは困難と思われる。

21-03-000006		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	645,507円			
<b>湯原町営駐車場管理運営事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費
事業概要	事業の意図	効率的な管理運営とサービスの充実により、地域の各施設となる。			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					クレーム件数	0			件	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	効率性									
<input type="radio"/>	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	安定した管理・運営を水の故郷が行っている。			今後の改革改善案	安定した管理・運営を水の故郷が行っているので、現状維持がベストである。			課題とその解決策	安定した管理・運営を水の故郷が行っているので、現状維持がベストである。

21-03-000007		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	468,224円			
<b>湯掛首町営駐車場管理運営事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費
事業概要	事業の意図	効率的な管理運営とサービスの充実により、地域の各施設となる。			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					クレーム件数	0			件	<input type="radio"/>
<input type="radio"/>	効率性									
<input type="radio"/>	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	安定した管理・運営を谷川岳ロープウェイが行っている。しかし平成27年4月から町直営監理となる			今後の改革改善案	谷川岳エコツアーなどの将来を見据え、指定管理を廃止しどのような方法が両者にとっていい話し合いを続けていきたい。			課題とその解決策	両者で話し合いを続ければ両者にとってよりよい利用方法が見つかると思う。

21-03-000008		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	416,061円			
<b>上牧駅周辺施設管理運営事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費
事業概要	事業の意図	快適・安全に利用してもらおう状態にする。			平成27年度		単位	評価結果	<input type="radio"/>	目的妥当性
					クレームの件数	1			件	<input checked="" type="radio"/>
<input type="radio"/>	効率性									
<input type="radio"/>	公平性									
総括と今後の方向性	全体総括	看板等を設置して、利用者のマナー向上を図る。			今後の改革改善案				課題とその解決策	冬期の除雪対策について検討する。

## 21 観光の振興

21-03-000009		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	6,704,578円			
<b>観光用公衆トイレ維持管理事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費
事業概要	事業の意図	良好な状態で使用してもらおう。			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
					安全に快適に利用できる施設数				25	箇所
								×	効率性	
								○	公平性	
総括と今後の方向性	全体総括	町内の主要道路沿いに設置されたトイレについては、当管理事務で実施し、観光施設(サッカー場・テニスコート等)については、施設利用者に利用終了後に清掃していただく。	今後の改革改善案	観光施設内のトイレを利用している団体については、利用者に清掃していただくよう周知する。	課題とその解決策				利用団体に利用終了後清掃をしていただく場合、利用後に清掃チェックが必要である。また、施設使用料の一部に清掃代が含まれているものと思っている団体もあり、清掃作業に温度差が生じる。	

21-03-000010		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	602,640円			
<b>水上駅前駐車場管理事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費
事業概要	事業の意図	ゆっくりと滞在できる時間の確保			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
					滞在時間				1	時間
								×	効率性	
								○	公平性	
総括と今後の方向性	全体総括	現在の仕組みが最適と考える。なお、駅前の活性化のためには更なる駐車スペースが必要である。	今後の改革改善案	賃貸借期間の見直しを行ったため若干予算が削減できた。	課題とその解決策				駅前商店街及び地域住民の理解と協力	

21-03-000011		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	35,900円			
<b>藤原ダム駐車場管理事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	3観光施設費
事業概要	事業の意図	快適で安全な施設			平成27年度		単位	評価結果	×	目的妥当性
					苦情件数				0	件
								×	効率性	
								○	公平性	
総括と今後の方向性	全体総括	森林管理署に返還の相談を行っている。	今後の改革改善案	廃止し返還する	課題とその解決策				返還にあたり、植林が必要になる。森林にして返還しなければならない。	

21-03-000012		担当組織	観光課 観光振興グループ			事業費	854,049円			
<b>たくみの里予約センター運営支援事業</b>		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	2観光振興費
事業概要	事業の意図	安全で楽しい魅力的なサービスを提供してもらおう			平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
					予約センター受入人数					人
								×	効率性	
								○	公平性	
総括と今後の方向性	全体総括	運営が軌道に乗れば、みなかみ農村公園公社に自主運営してもらおうよう協議する必要がある。	今後の改革改善案	平成24年度より町の委託料で運営している。	課題とその解決策				予約センターの事業運営が軌道に乗れば、委託料を削減し、みなかみ農村公園公社に自主運営してもらおうよう協議する必要がある	

21 観光の振興

21-03-000016		担当組織	まちづくり交流課 商工振興グループ			事業費	円		
月夜野振興公社指導監督事業		予算科目	会計	款	項	目			
事業概要	事業の意図	健全な経営		平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
				当期純利益	-569	千円		×	有効性
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	適切な経営指導		課題とその解決策	施設が老朽化して修繕が必要であるが、費用を捻出することが難しい。			

21-03-000017		担当組織	まちづくり交流課 商工振興グループ			事業費	円		
水の故郷指導監督事業		予算科目	会計	款	項	目			
事業概要	事業の意図	健全な財政運営		平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
				当期純利益	10,302	千		×	有効性
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	現状を維持していく。		課題とその解決策	湯テルメ谷川の設備が老朽化しており、計画的な修繕が必要である			

21-03-000018		担当組織	まちづくり交流課 商工振興グループ			事業費	円		
猿ヶ京温泉夢未来指導監督事業		予算科目	会計	款	項	目			
事業概要	事業の意図	健全な会社経営		平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性
				当期純利益	1,921	千円		×	有効性
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	・文化施設である「でんでこ座三国館」の管理については、(株)夢未来に指定管理料を支払い運営してもらった。		課題とその解決策	特になし。			

21-04-000001		担当組織	観光課 国際観光グループ			事業費	13,420,571円			
国際観光振興事業		予算科目	会計	一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	2観光振興費
事業概要	事業の意図	みなかみ町への外国人宿泊客数を増加させる		平成27年度		単位	評価結果	○	目的妥当性	
				みなかみ町への外国人宿泊客数(群馬県調査)	19,655	人		×	有効性	
総括と今後の方向性	全体総括	今後の改革改善案	国際交流事業との連携、観光協会インバウンド推進協議会との連携により人件費等の削減が可能		課題とその解決策	課題:行政と観光協会等民間団体との情報共有・意識共有				

21 観光の振興

21-04-000002		担当組織	観光課 国際観光グループ			事業費	79,000円			
ウェルカムぐんま国際観光推進協議会参画事業		予算科目	会計 一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	2観光振興費	
事業概要	事業の意図	ウエルカムぐんま国際観光推進協議会を円滑に運営させ、外国人観光客のみなかみ町への誘致をしてもらう	平成27年度				19,655	人	評価結果	<input type="radio"/> 目的妥当性
			みなかみ町への外国人宿泊客数(群馬県調査)							<input type="radio"/> 有効性
総括と今後の方向性	全体総括	現状維持	今後の改革改善案	とくになし		課題とその解決策	とくになし			

21-04-000003		担当組織	観光課 国際観光グループ			事業費	5,278,326円			
インバウンド受入体制整備事業		予算科目	会計 一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	2観光振興費	
事業概要	事業の意図	受入体制が充実することにより、外国人旅行者のみながみ町に対するブランドイメージ等が上がり、リピーターが増加する	平成27年度				19,655	人	評価結果	<input type="radio"/> 目的妥当性
			外国人延べ宿泊者数							<input checked="" type="radio"/> 有効性
総括と今後の方向性	全体総括	増加する訪日外国人旅行者の受け入れ態勢を整えることは、外国人へのプロモーションと同時に進めなければならない。受け入れ態勢を充実させなければ訪日外国人旅行者に直ぐに飽きられてしまい将来に繋げていけない。	今後の改革改善案	外国人受入の相談ができることの周知活動を行い、町民や観光事業者などからの相談を受けやすい体制を確立する。		課題とその解決策	増加している外国人旅行者に対しては、各地で受入体制の整備が行われている。整備が遅れることにより、他の観光地に外国人が流れてしまうため、町内事業者と意識共有を図り、早急に整備を進める必要がある。			

21-04-000004		担当組織	観光課 国際観光グループ			事業費	14,004,000円			
外国人観光客受入環境整備促進補助金交付事業		予算科目	会計 一般会計	款	7商工費	項	2観光費	目	2観光振興費	
事業概要	事業の意図	外国人観光客が快適に移動・滞在できるよう受入環境を整備する。	平成27年度				35	件	評価結果	<input type="radio"/> 目的妥当性
			確定通知書交付件数							<input checked="" type="radio"/> 有効性
総括と今後の方向性	全体総括	増加する訪日外国人旅行者の受け入れ態勢を整えることは、外国人へのプロモーションと同時に進めなければならない。受け入れ態勢を充実させなければ訪日外国人旅行者に直ぐに飽きられてしまい将来に繋げていけない。	今後の改革改善案	町の観光振興計画の中でも、国際観光の推進が計画されている。また、国・県としてもインバウンド施策が積極的に展開されており、官民一丸となった取り組みがますます求められている。この事業の開始により、町内の受入環境整備の底上げが図られ、外国人観光客の誘客促進に結びついている。		課題とその解決策	予算確保			